

【認知症サポーターキャラバン 令和3年度】
**地域の課題解決につながる
企業サポーターの活動事例**

自治体と連携した地域の高齢者支援取組の実施

一生涯のパートナー

第一生命



Dai-ichi Life Group

安心の先にある幸せへ。

第一生命の地域貢献概要

【しあわせだ・い・い・ちプロジェクト】安心の先にある幸せへ。

一生運のパートナー

第一生命

Dai-ichi Life Group

- 地域課題解決に向けた取組の一環として、自治体さまや地元企業さま等と連携しながら、弊社営業オフィス拠点等を活用し、地域住民の皆さまのQOL向上に貢献できるような取組を行う「地域のしあわせプロジェクト」を推進しています。
- こうした取組を通じて、地域コミュニティ創造・拡充していくことにより、地域活性化への寄与を目指してまいります。



弊社による「地域のしあわせプロジェクト」の推進

- 弊社の生涯設計デザイナーは、フェイス・トゥ・フェイスの活動を通じて、お客さまをはじめ、地域住民の方々や企業さまなどの幅広い層を対象に、様々な情報提供を行っています。
- その活動を活かし、地域課題解決に向け、自治体さまやパートナー企業さま等と連携・協働しながら、地域の活性化や人々のQOL向上への貢献に取り組んでいます。

横浜総合支社のネットワーク

◆神奈川県各地に広がるネットワーク

- ・生涯設計デザイナー 約 500名
- ・営業オフィス 19拠点
- ・ご契約件数 約 18万件
- ・お客さま数 約 10万名

◆フェイス・トゥ・フェイスの安心

協働

地域のネットワーク

◆地域密着の強み

- ・自治体（神奈川県 横浜市・横須賀市・逗子市・三浦市・葉山町）
- ・警察など

◆情報・ノウハウの共有

- ・ナショナルセンター（国立医療機関）
- ・パートナー企業・団体（LDH・PGA・日本相撲協会など）

地域活性化 ⇔ あらゆる人々のQOL向上

健康増進
For Health

女性の
活躍推進
For Women

高齢者
支援
For Senior

地域
活性化
For Society

子ども・
教育
For Kids

安全・防災
For Safety

スポーツ
振興
For Sports

1. 活動のねらい

背景

当支社の主な活動拠点（横浜市・横須賀市等）でも65歳以上高齢者人口は増加傾向。加齢は認知症発症のリスクでもあり、今後も続く高齢化と、要介護認定者の約2人に1人が認知症という現状からも、認知症予防や備えは最重要課題の一つとなっている。

認知症の予防に効果的な『交流』・『運動』に着目

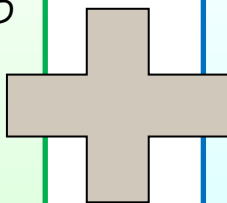
交流

認知症サポーターの養成

- ◆認知症に対する正しい知識や理解を持ち、お客さまや地域のご高齢者・ご家族に寄り添う
- ◆地域社会への貢献、共存することで、お客さまとの絆を深め、地域密着から定着へつなげていく。

地域見守り活動

日々の活動の中で異変に気付いた際には、速やかに自治体等に連絡することで、見守り活動に貢献できるよう取り組んでいる。



コロナ禍で減少傾向

運動

認知症予防体操「コグニ体操」 〈国立長寿医療研究センター監修〉



- 音楽にのせて楽しく「コグニサイズ」を実践
- コグニション(認知)とエクササイズ(運動)を組み合わせることで脳とからだの機能を効果的に向上させる運動プログラム。

- ◆コグニ体操DVDまたは動画情報（URL）を介護施設や65歳以上のご契約者さまへ提供。
- ◆地域の方と一緒にコグニ体操を行い、交流も深める。

日頃から地域に密着し、高齢者の方々と交流している生涯設計デザイナーの強みを活かし、自治体と連携して高齢者が安心して暮らせる見守り活動等を実施している。

2. 地域における多様な機関・団体との連携取組 活動内容

当支社の自治体等との協定状況（横浜総合支社）

時期	自治体等	内容
2015年1月	神奈川県	包括連携協定
2015年3月	横浜市健康福祉局	市民の健康づくりに係る包括的連携に関する協定
2018年7月	中区4警察署 (山手・加賀町・伊勢佐木・横浜水上)	地域安全に関する協定
2021年6月	横浜市子ども青少年局	子ども・青少年に係る連携に関する協定
2021年7月	金沢区・金沢警察署	金沢区認知症高齢者等SOSネットワーク協定
2022年1月	金沢警察署	地域安全に関する協定

営業オフィス「認知症サポーター」の活動取組事例



① 金 沢 営 業 オ フ ィ ス

金沢区認知症高齢者等 SOSネットワーク事業の協定締結

- 事前登録者数は令和2年度148件、令和3年8月末時点では162件と増加中。
- 金沢署によると令和3年8月末時点で認知症疑いの行方不明者は26人。すでに2件の捜査依頼事案も発生。高齢者に関する事案が昔に比べて非常に増えている。



■ 認知症高齢者及びご家族への情報提供活動と発見協力

- ① SOSネットワークへ事前登録依頼
- ② 行方不明 ⇒ 警察署→区役所 ⇒ 発見協力機関へ協力依頼
- ③ 捜索活動



こんな事業があるのね！
教えてくれてありがとう。

お客さまの声より



② 横須賀・横須賀ベイサイド・久里浜中央営業オフィス

よこすかオレンジLINEの登録・周知と見守り活動

認知症の方が行方不明になってしまった際に、横須賀市公式LINEアカウントを活用してLINE登録者（認知症サポーター、認知症オレンジパートナー）へ情報提供され、地域の中でいち早く発見に役立てる仕組みです。



↑【イメージ】LINEメッセージ

認知症関連情報やコラムも発信

③ 三 浦 営 業 オ フ ィ ス

三浦市社会福祉協議会と連携した高齢者支援



- コグニ体操DVDを寄贈
- 未病サロンの地域別チラシ作成予定
- 地域の方と認知症予防と共に交流を深める



コグニ体操にも
一緒に参加！！



3. 取組の工夫

コロナ禍における活動

オンラインの活用

- 非対面でも認知症サポーター養成講座が実施可能
- 移動時間もなく時間の効率UP



キャラバンメイト（講師）の増員

- 認知症サポーター養成講座の開催強化
- 継続教育の実施

運動不足による認知症予防

- 高齢者施設や地域の方へコグニDVDのお届け活動
- 一緒に体操に参加し地域の方との交流・親密化を図る



【横浜市】オレンジガイドの活用



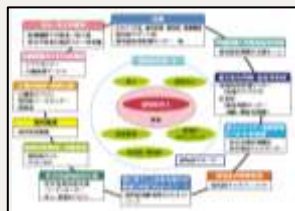
一生運のパートナー

第一生命

Dai-ichi Life Group

認知症サポーター養成講座の学びだけに留まらず、紹介できるように育成

【研修資料】



認知症サポーター養成講座
「テキスト」



オレンジガイド
認知症ケアパスガイド

認知症サポーター養成講座テキストで
横浜市の「認知症の人」を支える仕組みを
学び、ご相談窓口の紹介ができるように
オレンジガイドを活用して研修を行っている



◆ オレンジガイド ◆ 認知症ケアパスガイド

オレンジガイドとは・・・

役立つヒントをまとめた
冊子です。
どの時期にどのような
支援が必要になるのか、
おおまかな目安として、
一覧で見られます

「ご本人・ご家族目線」

(例) 「あれ？おかしいな」と感じたら・・・

- ・どうしたらいいの？ ・どこに相談したらいいの？
- ・どんな支援が必要なの？ ・どんな制度が使えるの？

【研修内容の充実】

- 横浜市の「認知症の人」を支える仕組み
- 相談窓口の紹介（地域ケアプラザ等）

地域に密着した情報提供と支援活動が地域住民のQOL向上につながる

4. 活動の効果

【サポーター活動好事例】 日野営業オフィス

訪問活動していたところ、道で転んでいるご年配の女性をお見かけしました。
お声を掛けたところ、転んで歩けず、立上ることもできない様子なので、サポートをしました。

状況を伺い、お一人でご自宅まで帰るのは難しいだろうと思い、ご自宅までお送りすることにしました。

その際、「本当に助かりました」とのご本人からのお礼の言葉をいただきました。

翌日、状況を聞いた息子さん夫婦がオフィスにご来社されました。
「母は気持ちばかり若く、認知機能の低下も見られ、足腰も弱ってきている。
今回は本当に助かりました」



また、「元気に出かけていくのだから実際はどうなっているかわからないので、転んだ際の状況も教えて欲しい」とのご質問もあり、お答えしたところ「今後の参考になりとても助かります」とお礼の言葉を頂きました。

お声をかけて本当に良かったと思います。
これからも地域に根差した日々の活動を行ってまいります！



【知識】

- ・認知症について、いままで曖昧だった知識を再確認することができた。
- ・社員も含め、さまざまな人に認知症についての知識を広めるよう意識するようになった。

【お客さま・地域のみなさまやそのご家族への理解・配慮】

- ・日頃のご来社対応やお電話対応等でも余裕を持って傾聴したり、ゆっくり話すなど意識することで優しい対応をこころがけるようになった。
- ・「正面で目線を合わせてから話しかける」など、ちょっとしたことだがとても重要なことなので実践している。
- ・お客さま等ご高齢な方には特に、極力ゆっくり分かりやすく話をしている。
- ・まずは身近な人で認知症の人やそのご家族がいる場合に寄り添いサポートしたい。
- ・街中などで困っている様子の方がいたら、勇気をもってお声がけしていきたい。

【本人や家族への配慮】

- ・これから家族や自身にも将来起こりえることとして、認知症を再認識できた。
- ・自身も高齢のご家族と接する時に配慮したいと感じた。
- ・実家の母もここにきて言動が以前に比べると緩慢になりつつあり、接していてイラッとすることもあるが、今回の受講を機に対処を考え直すことにした。

認知症サポーター養成講座を通じて

認知症
理解

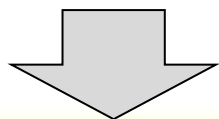
認知症
予防

認知症
配慮

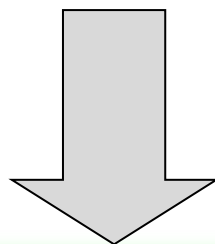
認知症
支援

自発的な貢献意欲を持った活動としての取組

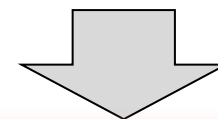
身近な事例や適切な対応、支えるための支援体制の仕組みなどを交えて研修することで正しい知識だけでなく、認知症の方やそのご家族に寄り添える適応力が身に付き自発的な貢献意欲が持って地域で暮らす認知症の方やそのご家族を応援している。



地域課題解決



お客さま満足向上



社員満足向上

地域課題解決によるお客さま・社員のQOL向上につながる



わたしたちは、これからもたくさんの方々となつなり、
ひとりでも多くの方々に**認知症についての正しい知識と理解**を深めていただき、
日々の生活の中でお役立ていただきたいと思っております。

当社はこれからも「一生涯のパートナー」として
地域に生かされているという民間企業の使命感を持って
地域の課題解決に向けての取組を継続してまいります。

共に活動するキャラバンメイトの皆さまも、
地域の課題解決に取り組んでいるという自信と使命感を持って
認知症や高齢になっても安心して



「住み続けられるまちづくり」



「すべての人に健康と福祉を」

といった**SDGsの実現に繋がる活動**をこれからも一緒に取組んでまいりましょう。